

地域保健

3

2017

●座談会

これからの地域保健と地域福祉

—地域共生社会における「保健」の役割を考える

●特集

高齢者虐待への対応

—介護家族への支援に焦点を当てて





〈表紙イラスト〉
山本まもる

「ここから子どもたちが遊んでるの見るのが1番しあわせ」

6

【座談会】

これからの地域保健と地域福祉 ～地域共生社会における「保健」の役割を考える～



- 【出席者】 岩室紳也さん
(ヘルスプロモーション推進センター) =司会
中板育美さん
(公益社団法人日本看護協会)
奥山千鶴子さん
(NPO 法人びーのびーの、NPO 法人子育てひろば
全国連絡協議会)
勝部麗子さん
(社会福祉法人豊中市社会福祉協議会)

26

【特集】

高齢者虐待への対応 ～介護家族への支援に焦点を当てて～

- | | | |
|----|---------------------------------|----------------|
| 28 | 【総論】 高齢者虐待の実態と介護家族支援の重要性 | 湯原悦子 (日本福祉大学) |
| 32 | 介護家族への効果的な介入と支援 | 岸 恵美子 (東邦大学) |
| 36 | 認知症介護によるうつ | 谷向 知 (愛媛大学) ほか |
| 41 | 高齢者虐待防止事業における介護家族支援 ～横須賀市の取り組み～ | 中村富美子 (横須賀市) |

2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 白石智子さん (天津市健康保険部保健所健康推進課南すこやか相談所)

50 ピープル ▶ 森 亮太さん (医療法人 八事の森 杉浦病院 院長)

54 2025年問題に備える～みんなで取り組む「地域づくり」▶ 東京都多摩市

62 研究報告 ▶ 筋力運動を中心とした介護予防運動教室が身体的および精神的側面にもたらす効果
～地域における介護予防推進員育成事業の一環としての取り組み～

72 「三世代の輪クチン 世代間で予防接種の大切さを考えようキャンペーン」のお知らせ

90 情報BOX

78 理解して生かす保健師用語 ▶ コミュニティ・エンパワメント

96 次号予告/奥付

連載

46 Integrated Health のすすめ《第6回》/今知美

80 百花繚乱 「花水木」《第3話》/森岡花華

48 ESSAY 国際保健《第18回》/松田正己

82 中臣さんの環境衛生ウオッチング《第54回》/中臣昌広

74 保健師のための閑話ケア《第69回》/藤本裕明

86 言葉と発達 いまどき子育てアドバイス《第228回》/中川信子



白石智子さん

● 大津市健康保険部 保健所 健康推進課
南すこやか相談所

いろいろな世代、いろいろな職種と
関わることで保健師として成長できる。



文：白井美樹（ライター） 写真：カミヤス セイ

これからの 地域保健と 地域福祉

地域共生社会における「保健」の役割を考える

厚生労働省は昨年夏、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を設置し、地域住民が支え合い、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けて動き出した。10月には「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会」がスタート。昨年末に「中間とりまとめ」を公表した。現時点では地域福祉関係者が中心の議論となっているが、今年2月に同本部がまとめた「地域共生社会の実現に向けた当面の改革工程」によると、平成32年を目処として、保健・福祉行政における包括的支援のあり方について制度上の位置付けを含め幅広く検討を行うとしており、今後は地域保健に関することも

議題に上ってくるものと思われる。
今月号の座談会では、地域保健側から2名、地域福祉側から2名（コミュニティ・ソーシャルワーカーとNPO代表）に参加いただき、福祉領域から走り始めた地域共生社会の実現に向かって、保健の立場がどう絡んでいけるのかを話し合う。



◆ヘルスプロモーション推進センター
岩室紳也さん



司会

◆社会福祉法人豊中市社会福祉協議会
勝部麗子さん



◆公益社団法人日本看護協会
中板育美さん



◆NPO法人びのびの、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
奥山千鶴子さん



高齢者虐待への対応

介護家族への支援に焦点を当てて

超高齢社会に突入し、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」は珍しいことではなくなってきた。介護者が介護に疲れ、「介護うつ」を発症するなどして、高齢者虐待、介護殺人、心中等に至るケースもみられる。2006（平成18）年に高齢者虐待防止法が施行されてから、各自治体で高齢者虐待防止事業が展開されているが、介護者側の支援が進んでいるとは言い難い。

今回の特集では、高齢者虐待防止、とりわけ介護家族に焦点を当て、支援の重要性や介入方法などを紹介する。



P28 【総論】 高齢者虐待の実態と介護家族支援の重要性
◎湯原悦子（日本福祉大学）

P32 介護家族への効果的な介入と支援
◎岸 恵美子（東邦大学）

P36 認知症介護によるうつ
◎谷向 知（愛媛大学）ほか

P41 高齢者虐待防止事業における介護家族支援—横須賀市の取り組み—
◎中村富美子（横須賀市）

森 亮 太

さん

●医療法人八事の森杉浦医院 院長

病気を診るのではなく人を診るのが僕のスタイル

杉浦医院院長の森亮太さんは、午前の診療が終わると、あわただしくに訪問診療に出発する。夕方の診療時間までの間、個人宅や老人ホームを回り、時には労災職業病に関する会議などもこなす。そんな熱血医師の森さんに、地域医療への思いを聞かせてもらった。

●聞き手……白井美樹（ライター）

訪問診療にもたっぷりと時間を費やす

「まったく休憩はとらないのですね。昼食は食べないのですか？」

森 糖質制限をしていることもあります。時間がもつたいたないので、昼はいつもサプリメントだけです。17時から夕方の診療が始まるので、その前になるべく多くの患者さんを訪問したいですからね。

「訪問診療では何名くらいの患者さんを診ているのですか。」

森 以前は自転車で訪問できる範囲で30名ほどでしたが、最近は車でないと行けないような遠方の人もだんだん増えていきます。

個人のお宅で60人くらい、老人ホームなどで80人くらいでしょうか。1人につき、月に2、3回は訪問しています。「先生じゃないとダメ」という高齢者も多くて、名古屋市の外れまで行くことも多いです。

残りが短くなった人生を無機質な病院ではなく、家で過ごしたいと思うのは当然のことでしょう。少しでも、そういうご老人たちが、より良い人生を過ごす手助けができればと考えています。

亡き母との約束を守るために医者を目指す

「医者を目指すようになったきっかけは？」

森 小学校3年生のときに、母が胃がんを患い、たったの数か月で亡くなりました。病床の母から「私のがんを治して」と言われたことが、大きく胸に残っていて、医者を目指したのです。

でも、医者になるまでの道のりは平坦ではなかったですね。あまり勉強しなかったこともありますが、なかなか医大に合格せず、予備校に通いながら浪人生活を続けま

バックナンバー紹介

2016年1月号

特集「成功に導く ポピュレーションアプローチの進め方」

成功すれば社会的影響が大きいポピュレーションアプローチ。概念の正確な解説とともに、全国で先進的に実施している成功例を紹介。

2016年2月号

特集「高齢者の心と向き合い、生きがいを支える」

高齢者＝弱者ではなく、喪失体験と折り合いをつけていく強さも持っている。さまざまな視点から「老い」に対する理解を深める。

2016年3月号

特集「保健師にとって根拠（エビデンス）とは何か？」

保健師がよく使う根拠（エビデンス）という言葉について整理を試みる。研究機関と現場、それぞれの「知」を融合させる一歩を目指す。

2016年5月号

特集「次世代に伝えたい保健師のスキル」

若手・中堅のスキル低下が危ぶまれる状況を背景に、ベテラン保健師が伝えたいことを独自の視点でまとめる。

座談会「新しい時代における保健師のビジョン」

地域包括ケアの推進や産業界とのコラボレーションなど、保健師を取り巻く環境が大きく変わる中で、公衆衛生看護の担い手である保健師の立ち位置を模索する。

2016年7月号

特集1「保健師が関わる地域包括ケア」

保健・医療・介護の大きな流れである地域包括ケアについて、保健師の関わり方に焦点を当て、各地の好事例を紹介する。

特集2「小児慢性特定疾病対策を推し進める」

改正児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病対策について、新制度への理解を深めるとともに、保健師が関与した具体例を見る。

2016年9月号

特集1「がんサバイバーシップを支える」

がんの治療後に充実した幸せな人生を送るための「がんサバイバーシップ」を地域で支えていく取り組みを事例紹介とともに考える。

特集2「災害時の子どものメンタルヘルス」

東日本大震災で子どもの心のケア支援に当たった医師・保健師が語る、ケアのポイント。熊本地震の子どもの心のケアに関するレポートも。

2016年11月号

特集1「事例検討会を効果的に進める」

日本看護協会が開発した事例検討会の手法を中心に、効果的な事例検討会の進め方の解説をはじめ、参考となる取り組み事例などをまとめる。

特集2「私のターニングポイント」

保健師が成長するプロセスでは、さまざまな出来事や人との出会いがある。ベテラン保健師の方々に、保健師としての転換期（ターニングポイント）を軸に、自らの保健師のキャリアを振り返っていただく。

2017年1月号

新春座談会「児童福祉法等の改正と今後の保健師活動」

新たな制度下において、保健師が児童虐待予防にいかに関わるのかを議題としながら、今後の母子保健の在り方や保健師のアイデンティティーなどを描き出す。

特集「災害関連死を未然に防ぐ」

避難生活の長期化により持病が悪化し死亡するなど、災害関連死に結び付きやすい事柄について、被災者の支援に当たっている医師、歯科医師が解説する。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部

FAX : 03 - 5977 - 0385

※バックナンバーの価格

(2016年3月号まで) 925円(税込) + 送料151円、

(2016年5月号から) 1,480円 + 送料151円

『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
- 価格 1冊あたり 1,480円（税込）、送料151円
年間購読 《公費前納および個人》7,990円（税込、送料弊社負担）
年間購読 《公費後納》8,878円（税込、送料弊社負担）
※学生割引あり。 ※学生および書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>